

八ヶ岳 ジャーナル

株式会社ビー・エス・ワイ
八ヶ岳ジャーナル編集部
発行責任者 小泉 徹
〒408-0112
北杜市須玉町若神子3931
TEL0551-45-7789
FAX0551-35-9200

1982年12月創刊 発行日:毎月1日と16日発行
発行地域:北杜市(明野町・須玉町・高根町・大泉町・長坂町・小淵沢町・白州町・武川町)



バス停のベンチに座って談笑する=ほくと・ぬくもり

認知症の徘徊抑止に

「バスの来ないバス停」設置

「今日のお昼は何を食べたっけ」と高齢者が座って会話するベンチの横には、県内で初めてといわれる「バスの来ないバス停」が7日に設置された。「家に帰りたい」と施設を抜け出してしまふ利用者に、バス停でバスを待っている間に、不安な気持ちを静めてもらおうと設置した。

このバス停は、高さ約2.5m、重さ約60kg。山梨交通株式会社が寄贈したもので、現在は使われていない古いバス停を再利用し、「バスのりば」、「山梨交通」の文字とバス停



長寿荘のバス停

名が書かれ、本物と見間違えるつくりになっている。山梨交通では「バス停を使いたい」という話から、今回初めていただき「バス停が設置されたのは、須玉町の社会福祉法人友伸福祉会の「ほくと・ぬくもり」の施設入り口横と特別養護老人ホーム長寿荘の玄関前の2カ所。バス停名には「ほくと・ぬくもり」、「長寿荘」と記されている。

この「バスの来ないバス停」は、神奈川県や富山県、愛知県などの特別養護老人ホームや老人保健施設、認知症グループホームなどで、認知症の人の徘徊抑止に「バスの来ないバス停」を使った「優しいうそ」として紹介され、その内容を知った同業者の榎由季子所長と職員の小沢幸恵さんが提案したもので、今年3月に山梨交通に企画書を提出して実現した。

「ほくと・ぬくもり」の施設入り口横と特別養護老人ホーム長寿荘の玄関前の2カ所。バス停名には「ほくと・ぬくもり」、「長寿荘」と記されている。また、長寿荘のバス停は時刻表が入り、行き先も「韮崎方面」、「増富方面」と書かれ、バスが本当に到着するのではと期待されている。

泥しぶぎに「笑顔」 鯉のぼり祭り大盛況

約400匹の鯉のぼりの群遊が初夏の風物詩となっている高根町の道の駅南きよさとで、5月5日、「第35回長沢鯉のぼり祭」(同実行委員会・奥水孝司実行委員長)の主催が開かれた。水を張った田んぼで行われる恒例の泥んこレースには、県内外から多くの親子が参加し、白熱したレースを



豪快に水しぶきをあげながら田んぼのなかを走る児童たち

豪快に水しぶきをあげながら田んぼのなかを走る児童たち。泥んこレースには、県内外から多くの親子が参加し、白熱したレースを繰り広げた。

「ほくと・ぬくもり」の施設入り口横と特別養護老人ホーム長寿荘の玄関前の2カ所。バス停名には「ほくと・ぬくもり」、「長寿荘」と記されている。また、長寿荘のバス停は時刻表が入り、行き先も「韮崎方面」、「増富方面」と書かれ、バスが本当に到着するのではと期待されている。

「山の学校」 自然との接し方

プロの登山ガイドと一緒に1年を通じて北杜市周辺の山を巡る「ほくと山の学校2026」の開校式が、5月6日、高根町の清里の森・森の音楽堂で行われた。県内外から小・中学生が参加し、開校式あとは天女山で

トレッキングを楽しんだ。(写真) この山の学校は、北杜市とアウトドアブランドの「THE NORTH FACE」が主催。八ヶ岳山岳ガイド協会が企画、運営しており、5月から来年の2月にかけて、日向山や編笠山に登るほか、瑞牆山のボルダリングや石空



川溪谷での沢遊び、雪山登山を予定している。同日は、山梨県をはじめ、東京都や神奈川県から小学4年〜中学2年生までの23人が参加。校長の竹内敬一さんは、「山の歴史や生息する動物を事前に勉強して現地を確認する体験を大切にしたい。だんだん山の声が聞こえるようになり、自然との接し方を学ぶことができる」と語った。

北杜市の地域新聞

八ヶ岳ジャーナル、韮崎ジャーナルがスマートフォンで読める公式ライン「Webtoday」は、右のQRコードから登録できます。(編集部 ☎0551-45-7789)



各種教習・講習受付中
新緑の季節
新しい挑戦してみませんか。
NAGASAKA Driving School
長坂自動車教習所
詳しい内容は
お電話で! ☎0120-32-0367 ☎0551-32-3366

精密部品加工・切削加工
株式会社 ドーベル
https://www.dober.co.jp
社員募集 職種:機械加工
お問い合わせは下記まで
北杜市長坂町塚川 2427-1
☎0551-32-3699

電池交換すぐ出来ます。
メガネ相談会
見え方でお困りの方へ
各種レンズのご提案・掛け具合の調整いたします
補聴器 貸し出し補聴器で体験して下さい
「北杜市補聴器購入補助金」ご利用・ご相談承ります。
石川時計店
北杜市長坂町長坂上条 ☎32-2458

ジメジメした前に
梅雨
ご相談下さい
プロにおまかせ
車内清掃
クリーニング(予約制)
キャンペーン!!
北杜のきずな商品券 5/30日迄
ENEOS 松野油店
北杜市須玉町若神子1376
☎(0551)42-2806

www.pika-dc.com 大泉町石堂交差点近く
Pika★ぴかいち歯科医院
★土・日曜日 診療しております。
北杜市高根町東井出4986-1378
院長:奥津 光一郎
お気軽にご相談下さい☎0551-46-1101

老若男女の手づくり絵本

個性あふれる120冊を展示

プロアマ問わず、老若男女が手がけたさまざまな手づくり絵本を一堂に



さまざまな手づくり絵本が展示されている

紹介する「旅するヨギヨギ」(ヨギヨギ)が、高根町のギャルリイグレグ八が岳で開かれた。物語の内容や絵、紙質、大きさなど、個性あふれる約120冊が展示されている。残りの会期は5月21日から24日まで。

この手づくり絵本展は、大阪府在住のリリイさんが主催するもので、2008年に当時リリイさんが営んでいた雑貨とアートの店「ヨギヨギ」で初めて開催。16年からは大阪や八ヶ岳のギャラリイを拠点に開催を続けてきた。

の対話がきっかけ。「日本の絵本には、自由で平和な社会が持つべき精神の形が描かれている」と深く感銘を受ける姿に日本の絵本文化の力を再認識した。絵本の専門学校に通っていた知人が身近にいたこともあり、誰もが参加できる手づくり絵本展を始めたという。

「乙女の清里・八ヶ岳」などを展示している。また、怖い夢を見た娘のために父親がつくったという「ゆめゆめバスター」や母親が亡くなった時の思いをつづった「母を懐に抱きしめて」、小学生が大切に思っていることを書いた「大切なこと」

なども並び、リリイさんは、「いろいろな表現や思いが詰まっている」と紹介する。5月9日には、大手門学院大学大学院の准教授で、社会学者の岩瀬亜希子さんを迎えたイベント「絵本で知る良き年齢の重ね方」が開かれ、岩瀬

さんは、時代とともに絵本のなかに登場する高齢者の役割や意味合いが変化していることなどを紹介。さまざまな絵本を通じて自分が理想とする年の重ね方や生き方を語り合う読書会を行った。

そのほか、展示作品の作者によるミニトーク「光の泉」の合唱を練習している。高根町の八ヶ岳やまびこホールで「八ヶ岳に響け、祈りとスペイン音楽コンサート」を開催するなど、精力的に活動している。

今年12月6日に、サグラダファミリア大聖堂のオルガンニスト・鈴木羊子さんを迎えたコンサートを計画している合唱団「ジュピター」(松浦厚司部長)では、「一緒に歌いませんか」と団員を募集している。「ジュピター」は、2024年12月頃に女性5人が歌い始めたのをきっかけにして、25年1月に発足した合唱団で、指導者はソプラノ歌手の広瀬おかりさん。現在の団員は約20人。(写真)

活動をスタートさせてからは、高根町の文化祭や北杜合唱祭、12月には「世界の子どもの本展」を金田一春彦記念図書館で企画したことがきっかけで、同法人の原田宏美代表は、「地域の子どもたちが世界に目を向けるきっかけになるとうれい」と話している。8月15日は、第2弾として、エクアドル大使館の職員をゲストに迎え、山岳地域にまつわる絵本「Kawsarina(追体験)」のキチュア語やスペイン語、日本語による読み聞かせを行う。会場は同図書館で、参加無料。定員は30人。予約は7月1日から。詳しくは☎38・1211まで。

絵本で世界をのぞく

カナダ大使館と読み聞かせ

世界の絵本を「原語のまま楽しむ読み聞かせイベント「外国の絵本で世界をのぞこう」が、5月6日、大泉町の北杜市金田一春彦記念図書館で開かれた。カナダの絵本をテーマに、日系カナダ作家のジョイ・コガワさんの作品が紹介され、家族連れなど約40人が参加した。

このイベントは、八ヶ岳南麓の住民有志でつくるNPO法人八ヶ岳グローバルソサエティ(旧ローバルソサエティ)と

「木」で、家の裏庭で家族を見守り続けた桜の木を通して愛と平和の大切さを描いた物語。コガワさん本人が英語で読み聞かせを行う動画を上映

したあとに、カナダ大使館の司書による日本語訳の読み聞かせが行われ、参加者は静かに耳を傾けていた。また、移民大国といわれるカナダは、日本にルーツを持つ人が12万9000人ほどいると言われていることなど、両国の関わりを学んだほか、カナダを象徴する野生動物の「ムース(ヘラジカ)」を折り紙でつくる体験も行われた。

この読み聞かせイベントは、NPO法人八ヶ岳グローバルソサエティが昨年の夏に、50カ国以上の児童書などを一堂に集

めた「世界の子どもの本展」を金田一春彦記念図書館で企画したことがきっかけで、同法人の原田宏美代表は、「地域の子どもたちが世界に目を向けるきっかけになるとうれい」と話している。8月15日は、第2弾として、エクアドル大使館の職員をゲストに迎え、山岳地域にまつわる絵本「Kawsarina(追体験)」のキチュア語やスペイン語、日本語による読み聞かせを行う。会場は同図書館で、参加無料。定員は30人。予約は7月1日から。詳しくは☎38・1211まで。

松浦部長は「楽譜を読めない人から音大出身の人まで様々、初心者だから歌えないではなく、(ジュピターでは)楽しく歌えると思



カナダ大使館内にある図書館とオンラインでつながり、絵本の読み聞かせが行われた

高根町の八ヶ岳やまびこホールで「八ヶ岳に響け、祈りとスペイン音楽コンサート」を開催するなど、精力的に活動している。

また、子どもたちに歌う楽しさを紹介しようとして、小学生・高校生を対象にした「体験レッスン」が5月30日に予定されている。会場は八ヶ岳キリスト教会で、午後1時30分開会。参加費1000円。問い合わせは☎090・8179・8882(柴田)まで。

指導者の広瀬さんは、「虹を意識して手を上げて」や「手を振ってピブレード」を、「絶叫の部分なので、クマが突然現れたらどうしますか」とゼスチャーを交えながら指導し、「童謡やアニメソングも練習する」(広瀬さん)と話している。

また、子どもたちに歌う楽しさを紹介しようとして、小学生・高校生を対象にした「体験レッスン」が5月30日に予定されている。会場は八ヶ岳キリスト教会で、午後1時30分開会。参加費1000円。問い合わせは☎090・8179・8882(柴田)まで。

白州町のおおぞら共和国で、5月16日の午前10時から「こつちやまつり」が開かれる。福祉や環境、平和などの関係団体約50が参加するイベントで、飲食店や雑貨、廃油石けんなどのミニブックづくりなどのワークショップ、紙芝居バンド演奏などのステージが予定されている。詳しくは左のQRコードから。

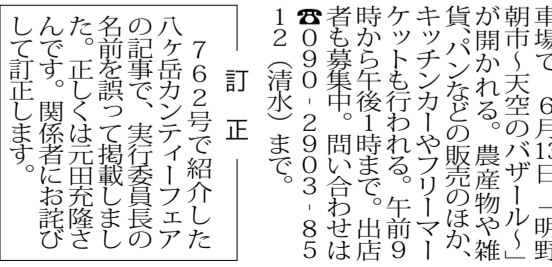
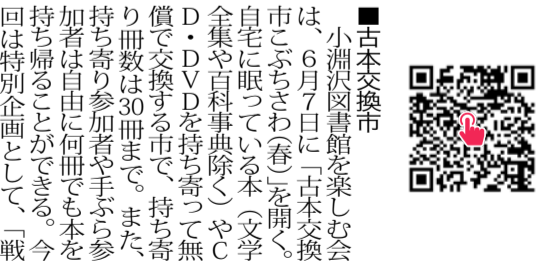
古本交換会 小淵沢図書館を楽しむ会は、6月7日に「古本交換会」を「こつちやまつり」を開く自宅に眠っている本(文学全集や百科事典除く)やCD・DVDを持ち寄り、持ち寄り冊数は30冊まで。また、持ち寄り参加者や手づから参加者は自由に何冊でも本を持ち帰ることができる。今回は特別企画として、「戦

争の本」に関連する本の交換も行っている。会場は生涯学習センターこづちさわで、午前9時30分(午後2時)まで。詳しくは☎070・4332・1580(佐藤)まで。

朗読会 6月6日、長坂町農村環境改善センターで、「声の文学全集第八七巻」が行われる。出演は八ヶ岳朗読サークルほかから、芥川龍之介作の「杜子春(とししゅん)」などを紹介する。ミニブックづくりなどのワークショップ、紙芝居バンド演奏などのステージが予定されている。詳しくは左のQRコードから。

明野朝市 明野町の明野農村公園駐車場で、6月13日、「明野朝市」が「天のバス」が開かれる。農産物や雑貨、パンなどの販売のほか、キッチンカーやフリーマーケットも行われる。午前9時から午後1時まで。出店者も募集中。問い合わせは☎090・2903・8512(清水)まで。

訂正 762号で紹介した八ヶ岳カンティエーアのの記事で、実行委員長の名前を誤って掲載しました。正しくは元田充隆さんです。関係者にお詫びして訂正します。



鳩川釣り大会 大型魚も放流 長坂町の旧秋田小学校西側を流れる鳩川で5月3日、恒例の「鳩川釣り大会」(長坂大泉地区釣り実行委員会主催)が開かれた。(写真) 今年30歳を超える大型魚も放流され、茨城県から家族と訪れたという田淵洋佑さん(7)は、「川で釣りをするのは初めて。大きな魚が釣れてうれしかった」と笑顔で話した。



北杜高校に贈られたポニーのポッピー

北杜高にポニー登場

小さな乗馬の宣伝隊長

県立北杜高等学校創立110周年記念事業の一環で、公益財団法人山梨県子牛育成協会からポニーが贈られ、5月1日に、同校で授納式が開かれた。

同校馬術部（福島ひとみ顧問）に寄贈されたポニーの名前は「ホクトポッピー」15歳の駒馬（せんばん）で、体高約1.1メートル。同校の厩舎（きゅうしや）で、サラブレッド4頭と一緒に世話をすることになっている。

北杜高校の花輪孝徳校長は、馬術部の部員を増やしたいと話している。

デザイン顧問を委嘱した北杜市は、市の魅力を効果的に発信しようと、4月30日、食品メーカーのキャラクターや県のキャラクターなどを手がけ、北杜市のふるさと親善大使に任命されている中野シロウさん（59）に「北杜市デザイン・ブランド顧問」を委嘱した。任期は2027年3月末まで。（写真）



力が大変重要です。中野さんの卓越した感性と経験を生かした戦略的な広報およびプロモーション活動を展開してまいります」とあいさつした。

同顧問に就任した中野さんは「北杜市のさらなる発展と地域の皆様の役に立つため、一生懸命やっています」とあいさつした。

中野さん、デザインの北杜市版のベアドッグは、もろっこパークの案内板や第4次北杜市総合計画の表紙イラストなどに活用している。

やすために、「大きいサラブレッドの世話からでは怖がってしまうため、ポニーの世話から乗馬の世界に入るきっかけづくりをしたい」、「中学生のオープンスクールや地域連携などでポニーと触れ合ってもらって興味を持ってもらいたい」と話している。

同顧問に就任した中野さんは「北杜市のさらなる発展と地域の皆様の役に立つため、一生懸命やっています」とあいさつした。

動物の生態を紹介する長坂町の北杜市オオムラサキセンターは5月3日、ゴールデンウィークの特別イベントとして、富士山麓を拠点に自然映像カメラマンとして活動する伊藤浩美さん（65）を迎えたトークイベントを開催した。（写真）

また、撮影の方法や苦労したことなど、裏側を語りながら「動物はいろいろな生き方をしている、見るのが楽しい。自分で飼育しながら経過を記録していくことで、いつか研究者も知らない発見ができるかもしれない」と観察の魅力を伝えた。

介護支援課が動画制作 体の変化知るきっかけに

フレイルのサイン：活動・心・認知機能

- ・外出する回数が減った
- ・以前は家だった家事が大変に感じる
- ・趣味への関心が薄れた、人と会うのが面倒になった
- ・気持ちが沈み、物事への意欲が湧かない
- ・物忘れが気になる、頭がすっきりしない

介護予防



高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、介護にまつわる制度や介護予防の取り組みを分かりやすくまとめた動画シリーズを制作した。（写真）

次に、活動や心、そして認知機能に関するサインです。動画は「介護のキホンと予防のススメ」と題し、「これだけは知っておきたい！介護の重要性のほかに、高齢者の消費者被害や虐待の防

止、成年後見制度など、幅広くまとめている。また、加齢とともに筋力や活力が低下し、健康な状態と要介護の状態を指す「フレイル」を取り上げ、簡単なフレイルチェックの方法と健康な状態に戻るための具体的な取り組みを紹介。地域でフレイルチェック測定を行っている住民ボランティアが出演して「通いの場」の楽しさも伝えている。

市は介護支援課では「重度の状態になる前に相談してもらい、介護に関する制度や取り組みを有効活用しながら自分らしい暮らしを少しでも長く送ってもらえたら。家族にも動画を見てもらい、早期の対策につなげたい」と話している。

動画はYouTubeの北杜市公式アカウントで配信している。約3分で行える「簡単フレイルチェック」の活用も呼びかけている。



配信中の動画

地域の窓をよくしたい！

先進的窓リノベ 2026事業！

省エネ効果の高い高断熱窓・ドアへのリフォームで

最大100万円補助金がもらえるチャンス！

夏の快活リフォームキャンペーン

5.1日～8.31日

お住まいにあわせた断熱商品と補助金額が一目でわかる！

1分CHECK!

窓・ドアリフォーム 省エネ補助金ナビ2026

ここからチェック!!

こんな症状ありますか？

- ・ネットが破損している、たるんでいる
- ・ネットを押さえるゴムが劣化している
- ・網戸を開けても隙間がある、網戸の動きが悪い

網戸の張り替え ご予約受け付け中！ お問い合わせは下記まで

NEW! かんたんウチリモ 内窓

今ある窓はそのまま

軽量鉄筋住宅、2×4住宅

従来の70mm以上必要... 47mm以上で取り付け可能に！

10円玉約3枚分の幅 10円玉約2枚分の幅

MADOショップの窓・玄関リフォームなら、アイテムポイント+ショップポイントで

Vポイントが貯まります。

たった一日で取替える ドアリモ

見積り無料

省エネ補助金 相談受付中

リフォームしませんか？

台所のリフォーム お風呂のリフォーム 介護用のリフォーム 間取りのリフォーム

断熱窓・玄関、テラス、エクステリア、樹脂デッキ、各種建築資材、キッチン、バス、トイレ、外壁、各種リフォームの相談や太陽光発電システムなど、家のことならなんでもご相談を承ります。

糸あやつり人形

ヒトカタ座が新作披露

総勢22体で「影の一座」演じる

人形の頭や肩、関節などからのびる15本以上の糸を巧みに操って、まるで生きていくかのように表現する日本の伝統芸能「糸あやつり人形」。5年



影の一座が路上パフォーマンスを披露する場面を練習するヒトカタ座の人形遣いたち

ほど前から北杜市などで人形芝居を上演している「ヒトカタ座」が、6月に新作を披露するため、練習に汗を流している。

ヒトカタ座は、かつて東京都の糸あやつり人形劇団に所属していた長野県伊那市在住の糸也(いとや)・未央さん(66)が2020年に発足。糸也さんは20年以上人形芝居の世界から離れていたが、須玉町下津金で糸あやつり人形などを制作している田中翠さん(80)の個展に参加したことを機に芝居を再開した。当時は大病を患っていて、

命あるうちにもう一度挑戦したいと強く思った」と振り返る。

現在、ヒトカタ座には、伊那市や北杜市に住む8人のメンバーが所属している。田中さんが人形制作。北杜市内では、須玉町の津金学校や白州町の台原家住宅を会場にして、日本の民話を題材にした「さんまのおふだ」や戦国時代が舞台の「奥庭狐火の段」などを上演してきた。

今年の作品は、ドイツの児童文学作家、ミヒャエル・エンデ原作の「オフェリア」と影の一座で、劇場の閉鎖で失業した老女オフェリアが、行く当てのない「影」たちと出会い、影の劇団を組んで世界を旅する幻想的な物語。

登場する人形は総勢22体で、5人の人形遣いが巧みに操り、息づかいや心の動きまでも表現する。影の一座が華やかに路上パフォーマンスを披露する場面などが見所で、手持ちで使えるプロジェクターを利用して会場全体にさまざまな写真や絵を投影する仕掛けも見ものだ。

糸也さんは、「今回の作品は、光と影、生と死があるからこそ光の方向が分かり、進む道が見えてくる。自分にとって影の存在はなにか、どう生きていくのかを考えるきっかけになったらうれしい」と話している。

公演は、6月6〜8日に須玉町の津金学校で開催。チケットは既に完売しているが、要望に応じて追加公演を11月21〜23日に行う。会場は津金学校で、各回の定員は18人。チケットは5000円。問い合わせは hiokataza@gmail.com まで。

朗読と音楽の誘い

憲法前文や児童書を披露

俳優の金田賢一さん(東京都在住)と音楽家の丸尾めぐみさん(北杜市在住)による朗読&音楽ユニット「朗読三昧」が、5月24日、高根町の清里の森・森の音楽堂でライブを開催する。「朗読と音楽のやさしくも自立した関係」をコンセプトにした公演で、来場者を物語の世界に誘う。

朗読三昧は、本好きで金田さんと丸尾さんが2007年に結成した。文学作品から日本国憲法など幅広い分野を取り上げ、金田さんの朗読に呼応するように丸尾さんがオリジナル楽曲やさまざまな楽器の音色を奏でるスタイルで、全国各地で公演を行ってきた。



金田さんと丸尾さんは、「視覚的な情報は無いので、耳から入る言葉と音楽からイメージを膨らませ、想像する時間を楽しんでもらえたら」、「朗読という意味性のある音と音楽というより感覚的な音が合わさる魅力を感じてほしい」と話している。

清里の乳清を活用

ジェラートを共同開発

チーズを製造する過程で発生する牛乳由来の液体「ホエイ(乳清)」。栄養価が高いとされているものの、その多くは廃棄されているという。高根町の株式会社清里ミルクプラントと笛吹市のnooto(ノウト)工場直売所は、このホエイを有効活用したフルーツジェラートを共同開発した。

ノウト工場直売所は、就労支援事業を手がけるKEIPE株式会社(甲府市)が昨年5月にオー



プンした施設で、規格外の果物を活用したジェラートなどを製造。ミルクプラントの牛乳を仕入れていたつながら、同社で年間約1.3トンのホエイが廃棄されていたことを知り、課題を新たな価値に変える取り組みができないかと、共同して商品開発を進めてきた。

ほんのりとした甘みのある「スイートホエイ」を活用したジェラートは、山梨県産の規格外の果物などを使った桃フレーバーの「モモモモ」

4月29日にノウト工場直売所で販売を始め、同直売所のブランドینگ統括マネージャーの雨宮友美さんは、「試行錯誤を重ねてならぬかな食感が表現できた。ホエイの風味や香りがフルーツとの相性が良く、後味がさっぱりとしたジェラートに仕上がった」と紹介し、ミルクプラントの営業企画課長の磯部啓介さんは、「廃棄されること

の多いホエイを有効活用することで、その魅力や牛乳の価値をさらに高

24日に遠照寺でマルシェ

須玉町の遠照寺(内藤和心住職)は、本堂や客殿燦々(さんざんざん)びょう)広場を開放して、「遠照寺マルシェ」を5月24日に初めて開催する。このマルシェは墓地と広場を整備して3周年に

なることから、記念事業



ノウト工場直売所のInstagram

朗読と音楽の誘い

として計画されたもので、「お寺で結ぶ美味しご縁」として、弁当や焼き菓子、パンなどの飲食ブースやももふふアーとやフラワーフレームなどのワークショップ、リパッケージの癒やしコーナーが用意される。また、

Kojimohajiさんの手回しオルガンやアコースティックバンドGARDの演奏なども行われる。さらに、午後12時30分からは「特別ご首題祈願法要」を予定しており、ご首題に記入する「家内安全」や「心願成就」、「身体健全」などの願文(がせは)080・5062・1868(内藤)まで。

第79回 清里高原つつじ祭り

2026年6月7日(日) 受付AM9:30~/開会式AM10:00~※小雨決行 飲料と軽食付

つつじ植栽 参加者募集(無料) 会場:清里 美し森

清里高原つつじ祭りは、戦前、清里の父ポール・ラッシュ博士が清泉を訪れる人々と一緒に満開のつつじを見て歩いた「アゼリアパーティー」が始まりといわれています。以前は満開のつつじが山を覆い、真っ赤に燃え上がるようだったといわれた「美し森」でしたが、近年は、樹勢の衰えが目立つようになり、平成29年の70回の記念事業から「つつじの群落を再生させよう」と植樹活動を行っています。皆さんも一緒に植栽しませんか? 子供たちの参加も大歓迎です。ハングスコープと空のペットボトルをご持参ください。



5月31日(日) 受付AM9:00~ 美し森美化活動 ボランティア募集

6月7日に開催する「清里つつじ祭り」を前に、美し森をきれいにしてお迎えしませんか? 美化活動のボランティアを募集します。当日は、カマやノコギリ、刈払い機などをご持参ください。問い合わせは、一般社団法人 北杜市観光協会 ☎30-7866まで。



上記QRコードからつつじ祭り・美化活動に簡単に申込みができます。



出会い、迷い、歩み。すべてが今につながっている。自分史にしてみませんか?

株式会社ピー・エス・ワイ 0551-42-2346 info@morinchu.jp